

令和 8 年度日本語学校教育研究大会日程

1 日目 2026 年 8 月 10 日(月) 講演・パネルディスカッション・ポスター発表・デモンストレーション等

2 日目 2026 年 8 月 11 日(火・祝) 分科会・自由研究発表等

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟・センター棟

テーマ:日本語学校の新たなステージへ ともにつくる持続可能な未来

1 日目(8 月 10 日)

9:20～ 受付

カルチャー棟 1F 小ホール(定員 330 人)

10:00～10:30	開会挨拶 一般財団法人日本語教育振興協会理事長 加藤早苗 来賓挨拶 大会趣旨説明 大会委員長 佐々木 渉(学校法人石川学園横浜デザイン学院 日本語研究科学科長)
10:30～11:20	講演 「文部科学省の日本語教育施策の動向」 文部科学省総合教育政策局日本語教育課長 降旗友宏
11:30～12:10	講演 「育成就労制度における日本語能力向上のための施策」 出入国在留管理庁政策課補佐官 青柳晶子

カルチャー棟 1F 展示スペース・小ホールホワイエ

12:30～14:30	ポスター発表・デモンストレーション ※発表テーマ・発表者については次頁を参照してください。
-------------	--

昼休憩(食堂等について)

時間帯やセンターの利用状況によりカフェテリア『ふじ』(センター2F ランチタイム 11:30～13:30(ラストオーダー13:15)) は混み合う可能性があります。コンビニエンスストア(宿泊D棟1階 交流プラザ横)やイートインスペース(カルチャー棟 2F)もありますのでご利用ください。

カルチャー棟 1F 小ホール

14:30～16:00	基調講演「留学生政策の世界的動向と今後の日本の取り組みを考える」 太田浩(一橋大学全学共通教育センター 教授)
16:10～17:40	パネルディスカッション「『ともに創る』社会に向けて、日本語学校は何ができるか ―分野横断で語り合うこれからの日本語教育―」 長山和夫(一般財団法人日本国際協力センター 事務局上席主幹) 仙田武司(公益財団法人しまね国際センター 事務局次長) 加藤早苗(一般財団法人日本語教育振興協会 理事長)

18:00～ 交流会

国際交流棟 1F レセプションホール(定員 150 人)

12:30～14:30

カルチャー棟 1F 展示スペース・小ホールホワイエ

＜ポスター発表＞

1. 日本語学校における管理運営業務の可視化と部署編成の実践—アン・ランゲージ・スクール成増校における業務平準化の取り組み— 安中浩美(アン・ランゲージ・スクール成増校)
2. CEFR-CV「仲介」の観点から見る日本語学校上級クラスの協働学習—「農業の未来」をめぐる対話と認識の再構築に着目して— 寺浦久仁香(イーストウエスト日本語学校)
3. 日本語学習者は戦争の何をどう受け止めたか—戦争をめぐる3つのトピック・実践に焦点化して— 川嶋麻祐子・萩原秀樹(インターカルト日本語学校)
4. 「多言語を楽しむ絵本」～豊かな言語を共有するために～ 宮原晶子(インターカルト日本語学校)
5. 孤島からの打開—小規模日本語学校発の自己研鑽・越境共有プラットフォームの設計と試行錯誤 山本泰輔(AFC 国際学院)
6. 主任教員研修におけるネットワーク形成の実態とその意義—受講後のつながりに着目して— 澤井美智子(大阪みなみ日本語学校)、内田さつき(コミュニケーション学院)、戸川朝子(南大阪国際語学学校)
7. 学生は「よい学校」をどう語るか—フューチャー・ランゲージ作成の試み— 平賀結花(上山学院日本語学校)
8. 言語ポートレートによる複言語能力の可視化と内省—日本語学校生と大学生の相互理解プログラム構築に向けて— 渋谷博子(クリエイティブ日本語学校)、清水由貴子(聖心女子大学)
9. NEJにおける「飽きさせない朗唱」の実践共有—学習者への負荷に基づく活動の体系化と教師間連携の試み— 山田靖幸・小村志保美・植木真弓・新谷葉菜(コミュニケーション学院)
10. 漢字を楽しくするための実践 長田萌実(静岡日本語学院)
11. 点から線へつなげる—個別の地域活動と教室実践を結びつける試み— 花田紘美・佐野彩・神村レナ・菅原慎一・飯島沙綾(新世界語学院)
12. 初任日本語教師の態度涵養にケース学習は援用できるか—省察と「経験の枠」の観点から— 鴈野恵(筑紫女学園大学)、香月裕介(神戸学院大学)、水戸貴久(立命館アジア太平洋大学)
13. 日本語教育の参照枠に基づいた作文評価ルーブリックの作成、実践 高木菜央・高橋いくみ(浜松日本語学院)
14. スマホで始める ICT 授業～ICT を活用したアンケート調査型発表授業の実践～ 栗本久美・山本愛海・橘奨悟(平成医療学園専門学校)
15. 認知機能トレーニングから生まれる気づき—書字能力の向上をめざして— 佐野真弓・加藤淳(ミッドリム日本語学校)
16. 対話を通して社会とつながる—交流授業に見られた学生の自己変容— 杜瑞凌・戸川朝子(南大阪国際語学学校)
17. 日本語学校における教師の「自己ふりかえりシート」の実践 室屋博(ユニタス日本語学校言語研究所)
18. 留学生の防災教育 ～留学生が地域の防災教育に参加する意義～ 山本佐知子(和歌山医療スポーツ専門学校)

＜デモンストレーション＞

1. 生成 AI を活用した統合型日本語学習プラットフォームの開発と実践—教師の負担軽減と学習者の個別最適化を目指して— 伊藤裕(アジア日本語学院)、家守里佳(合同会社 mo' o Links)
2. 台湾の中等教育における「使える・感じる・つながる日本語」の実践——七夕イベントを通じた協働学習と自己表現活動—— 謝京子(台湾 新北市立淡水商工職業学校)、東平福美(鳥取大学)、出野由紀子(ヤマザキ動物看護大学)
3. みんなのロールプレイ(多人数によるロールプレイの試み) 西川格(東京昭和国際学院)
4. 交流活動の全体像を可視化する「異文化間交流活動テンプレート」—教育機関同士の協働の促進を目指して 古田梨乃(新潟大学)、島由佳(鹿児島高校)、中川健司(横浜国立大学)
5. 日本語能力試験(JLPT)「合格対策講座」における学習可視化と反復学習支援の実践— 「学習専用機」、「合格 MY スケジュール」及び「学習チェック表」を用いたデモンストレーション— 早瀬麻紀夫・近藤伸彦・村上誠・佐久間弘基(株式会社日建学院)
6. 生成 AI による日本語教育用アプリ・ツールの開発 今井新悟(合同会社 Logos)
7. 教師の「教えるににくい」に言語研究と AI で応える—社会言語能力・語用能力の教育支援 AI ツール 山下夏輝(アデコ株式会社)

2 日目(8 月 11 日)
9:20～ 受付

2 日目のみ参加の方は、101 室前の受付(9:30～)にお越しください。
1 日目に受付がお済みの方は、直接各会場へお越しください。
会場により収容定員が異なります。定員に達した場合、ご入場いただけないことがありますので予めご承知おきください。

センター棟

10:00～12:00	分科会Ⅰ 参照枠 101 室(定員 180 人) 『日本語教育の参照枠』にどう向き合うか ～参照枠と教師当事者性～ 神吉宇一(武蔵野大学グローバル学部日本語コミュニケーション学科 教授)
	分科会Ⅱ 評価 102 室(定員 120 人) 『適切な評価を実現するために』～「次の学びにつなげる」評価をめざす～ 嶋田和子(一般社団法人アクラス日本語教育研究所 代表理事)
	分科会Ⅲ 教員 311 室(定員 80 人) 「秩序ある共生のもと、過剰管理に走らない学校づくりと教師の役割」 二子石優(東北大学高度教養教育・学生支援機構教養教育院 特任准教授) 山本弘子(カイ日本語スクール 代表)

協賛団体紹介ブース

センター棟 310 室

12:00～14:00	(株)アルク、EduTechJapan(株)、(株)国書刊行会、(株)コスモピア、 (株)サーティファイ、(株)スリーエーネットワーク、(株)清光教育総合研 究所、(株)凡人社
-------------	--

13:30～15:45

自由研究発表

センター棟

13:30～14:05	(1)留学生の進路選択と進学準備の実態—2025 年度「日本留学 Awards」アンケート結果から見える支援課題— 山本弘子(カイ日本語スクール)、亀田美保(大阪 YMCA 日本語教育センター)、神恵介(新世界語学院)、前田純代(サム教育学院)、高島蔵人(早稲田 EDU 日本語学校)、伊藤裕(アジア日本語学院) 101 室
	(2)認定日本語教育機関の申請の課題と対応～自律学習の促進と客観的評価の構築を中心に～ 今井新悟(合同会社 Logos) 102 室
	(3)教育実習受入れは教員研修になりうるか—担当教員の学びに着目して— 戸川朝子(南大阪国際語学学校) 311 室
	(4)地域連携型交流における「受け入れ側の学び」 羅漢・中島佳那子・谷川恵(東北大学工学研究科)、ベルガスジャスティン・中尾優美子(公益財団法人仙台観光国際協会) 402 室
14:20～14:55	(5)日本語学校教員は、誰と、どのような発信を行ってきたか— 日本語教育学会「交流ひろば」出展の調査から — 内田さつき(コミュニケーション学院)、中川健司(横浜国立大学)、古田梨乃(新潟大学)、平山允子(日本学生支援機構東京日本語教育センター) 101 室
	(6)大学での実践を通して考える 日本語学校における「学習を自ら管理する能力」の育成 倉本文子(カイ日本語スクール) 102 室

14:20～14:55	(7)物語の力:心に残る素材を提供するー能動的に「読み」を楽しむためのー提案ー 折原有実・萩原秀樹(インターカルト日本語学校) 311 室
	(8)高校生との交流授業における留学生の役割と変容 堀口典子・佐々木渉(学校法人石川学園横浜デザイン学院) 402 室
15:10～15:45	(9)上級日本語学習者の生成 AI 活用による作文への影響と教師評価に関する探索的研究 渡辺玲奈(浜松日本語学院) 101 室
	(10)日本語口頭能力の自己評価の変化ー会話アプリを用いた教室外の会話練習の効果ー 山下康太・坂本正(愛知国際学院) 102 室
	(11)実践授業「偏見、差別、ことば」ー差別を他人事にしない授業と教師を目指してー 萩原秀樹(インターカルト日本語学校) 311 室
	(12)日本語学校における教職員向け防災研修の必要性ー教職員全体で取り組む防災研修の検討ー 前田和則(熊本国際日本語学校) 402 室

15:45 終了

※なお、日程については当日一部変更になることがあります。